

# 緑豊かな「千の丘の国」ルワンダから 悲しみを越えた、温かいフェアトレードの品々!

～アフリカ、エチオピアとルワンダへ行ってきました。その2～

企画・制作/中日新聞広告局

## “エシカル・ファッションショー&フェアトレード・トークショー”

COP10イベントとしてモリコロパークにて開催しました「地球いきものEXPO」での「エシカル・ファッションショー&フェアトレード・トークショー」(10/17)にはたくさんの方々にお越しいただきまして、ありがとうございました。お天気にも恵まれ、コスモス満開の大芝生広場にはご家族・お友達・カップルとさまざまな方々がそれぞれに芝生の上での心地いい時間を過ごされながら、ショーをお楽しみいただきました。フェアトレードやエシカルのことを皆さまに知っていただく大きな機会をいただきましたことに感謝の気持ちでいっぱいです。今後もまだまだ私たちのファッションショーは続きます!



### イベント・インフォメーション

**「JICA中部 フェアトレード・カレッジ2010」第2回  
“原田さとみのエシカル・ファッションショー&  
フェアトレード・トークショー+オークション”**

11月21日(日)午後2時～

■場所/ JICA中部なごや地球ひろば ■入場無料

環境負荷をかけず、地球にも人に優しく、持続可能でエコロジカルな「エシカル・ファッション」を中心に、アフリカの伝統的な生地をつかった「ベネロープ・ブリス」オリジナル・フェアトレードのお洋服も登場。ルワンダの牛の角のエシカル・ジュエリー「HASUNA」も彩りを添えます!  
演奏は、高橋誠さんのヴァイオリンと、望月雄史さんのギターによるヨーロッパアン・ジャズに加え、ベナン出身のアフリカ太鼓・ジョンベアデックさんとのコラボレーション。異国のセッションの魅力をファッションショーと共に楽しんでください。

14:00～ エシカル&フェアトレード・ファッションショー

14:30～ 原田さとみトークショー

15:30～ チャリティー・オークション

ショーの後は、アフリカの布のオリジナル・フェアトレードのお洋服をオークション!!  
他に、エシカル・ファッションの販売や、エチオピアとルワンダで買ってきたフェアトレードのショールや「牛の角」バングルも販売します。皆さんぜひ遊びに来て下さいね!

会場: JICA中部なごや地球ひろば  
<http://www.jica.go.jp/nagoyahiroba/information/access.html> ※blank

## 原田さとみ

- タレント/エシカル・コーディネーター
- 「JICA中部なごや地球ひろば」オフィシャル・サポーター
- 「世界と出会う絵本ひろば」主幹(毎月第4土曜開催)
- 「コップなごや水基金」世話人 <http://cupnagoya.org>
- 「フェアトレードタウンなごや推進委員会」世話人
- エシカル・ベネロープ株式会社 代表取締役
- 公開講座「未来へのメッセージ-世界の絵本が環境を越えた笑顔をつくる-」
- 11月27日(土)10時～12時 名古屋東生学習センター **入場無料**
- 絵本の読み聞かせの会「ルプ」開催
- 11月27日(土)14時～16時 JICA中部なごや地球ひろば **入場無料**



原田さとみブログ <http://satomiharada.com>



理数科教師として中学校に赴任している関良夫隊員(中央)と教員たち

あれから16年。ルワンダの人たちは「和解と共生」という重い課題に向き合い、過去の過ちを許し合い、長い間対立していた国民が一丸となって、優しく強い平和な国へと成長していった。加害者が被害者の家族のための家を建てるプロジェクトなど、さまざまな勇敢な取り組みが行われ、JICAも青年海外協力隊や専門家を派遣し、人的資源開発、住民の生活向上改善を目指す地域開発、経済基盤整備、産業開発を支援してきました。

遠いルワンダの小さな



湖畔の観光地キブイエで村落開発に努める下山ひろみ隊員(中央)と、JICA中部サポーターとして一緒にアフリカに行きました。ZIP-FMミュージックナビゲーター、人気DJの空木マイカちゃん(左)と、村の市場にて

(※2) JICA中部 フェアトレード・カレッジ2010……楽しくおしゃべりかっこよくフェアトレードにふれられるファッションショーやトーク、映画上映にコーヒーセレモニーと全6回のフェアトレード講座。会場は「JICA中部なごや地球ひろば」。11月21日「原田さとみのエシカル・ファッションショー&フェアトレード・トークショー」。12月12日「ソーシャルビジネスを始めた女性たちの想い」白木夏子&加藤悦子。1月23日「フェアトレードを仕事にする男たち対談」。2月13日「JICA中部フェアトレード・カレッジ2010 ミニ映画祭」2月27日「生物多様性とフェアトレードinエチオピア」原田さとみ&空木マイカ。予約申し込みはフェアビーンズ052-583-6480

フェアトレード推進活動やエシカル・コーディネーターの活動をしていることから日本のODA実施機関である国際協力機構(JICA)の国内機関、JICA中部なごや地球ひろばのオフィシャル・サポーターに任命され、JICAの広報活動をサポートしている原田さとみさん。その活動の一環で今年の夏、アフリカのエチオピアとルワンダへの視察派遣が決まり、途上国の現状やJICAが派遣する青年海外協力隊員等のボランティア活動の視察へ行ってきました。2回目の今回は、美しい小国ルワンダのお話です。



Activity report  
01  
アフリカの魅力

## 前を向いて生きているルワンダ 「ミシシッパ」落ちついてない美しい国

8月19日、アフリカ7日目、エチオピアからルワンダの首都キガリへ到着。空港では入国者の手荷物でビニール製のレジ袋やお土産袋は容赦なく没収。この国では、ビニールの袋は使用禁止、海外からの持ち込みも禁止されています。エチオピアの空港で買ったお土産のコーヒーをお店のビニール袋に入れたまま入国した私も、早々に袋を没収。徹底したエコロジー政策に感激し、先進国からのケミカルな便利モノに屈することなく、自然環境配慮を重視するという成熟した感覚をもつ清潔な小国ルワンダへの期待でうれしくなっていました。



夕暮れ時のルワンダの首都キガリ

## 勇敢な「和解と共生」は、世界に 勇気と希望を与えています

ですがルワンダといえば、世界を震撼させた1994年の大量虐殺・ジェノサイドが多くの人の記憶に残っているかもしれません。国民の10人に1人、約100万人が、わずか100日の間に虐殺されました。その傷跡だけでなく民族紛争の火種もまだどこかにくすぶっているのではと私も思っていました。ところが全く違っていました。

## 牛の角バングルを販売します フェアトレードで、 工房から加工された牛の



廃材となった牛の角をカットしてアクセサリに

この工房で加工された牛の角のパーツや商品は、加藤さんの支援によって日本での販路を開拓中です。継続的に彼らの品々を輸入することはまさにフェアトレード。11月21日(日)に開催します「JICA中部フェアトレード・カレッジ2010(※2)」第2回のエシカル・ファッションショー&フェアトレード・トークショーでは、この牛の角を輪切りにしたシンブルなバングル(フレスレット)を販売します。さらにショーでは同じ工房の牛の角をアレンジしたエシカル・ジュエリー「HASUNA」の商品も登場します。そんな加藤悦子さんと、「HASUNA」代表の白木夏子さんのトークは、12月12日(日)に開催です。

工房からの宝物は世界へと広がっています。さらに質が向上し、仕事が安定し、後継者が育つてゆくことを願います。私にできることは継続的に輸入し、日本の皆さんに商品を紹介すること。穏やかで気さくなルワンダの皆さんの笑顔に会い、日本の皆さんもぜひ美しい国ルワンダを訪れてみてください。きっとこの国が大好きになると思いますよ。

帰国後も続くJICA協力隊員の心の通った支援活動  
国土の狭いルワンダは、天然資源には乏しいのですが、人口密度の高さではアフリカで一番。「人」が大切な資源です。JICAでは、人材育成を通して貧困削減・経済成長を目指すべく、中等学校への理数科教師、職業訓練校への専門家、国内の騒乱を経験した子どもたちへの精神的ケアのためのソーシャルワーカーを派遣し、子どもや青少年への支援を行っています。

丘の上に建つ小さな工房は、未来への希望に光輝いて見えました。加藤さんが育てた10人の元ストリートチルドレンの青年たちが、黙々と廃材となつた牛の角の加工に専念していました。日本からの支援に甘えることなく、自分たちの力で経営し、未来を見据えてしっかりと生きようとしている様子に、そして幾多の困難を乗り越えて今ここにたつたルワンダの青年たちと日本の加藤さんとの温かな信頼関係に、感動しました。

(※1) 元青年海外協力隊員で臨床心理士の加藤悦子さん……現在は「仕事ノアル暮らし」を主宰。ルワンダにお仕事を作っています。牛の角や麻で編んだアガセチなどルワンダからのフェアトレード商品に関するお問い合わせは、YQL02606@nifty.ne.jp まで。 <http://www.worklivelove.net/>